
エネルナ！

棒人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エネルギー！

【Zコード】

Z3059BA

【作者名】

棒人間

【あらすじ】

ある者がありました。

不思議な力を持つたある者が。

課せられた使命を果たすためにその者は旅立ちます。

始まり（前書き）

書や絵のよひとつもしたたけじ見切り発車でGOしまお。

始まり

ある国と国の境目の森。

この広大な森の中にポツンと小屋がありました。

2つの国のは知りません。

ですが私にとつてはどうでも良い事です。

朝には近くの小川から水を汲み、薪を拾い、木の実を食べ、昼には鳥達の歌を聴き、夜には仲良くなつたワーウルフさんを一人、小屋に招き一緒の食事とつたりもします。

遠くふもとの人達はワーウルフさんを危険だと言い殺している様ですが、私にとつては大事な友達の1人です。

そんな毎日を過ぎる私でした。

夜のお前わん

「あ、小鳥さんこなんにちは。」

ピー、チチチとお返事が帰つてきました。
後で木の実をあげましょつか。

川原において顔を洗い、木のバケツで水を汲み家に帰りました。

そういえばワーワルフさんがくれた固いパンと言つものがあります
たね。
朝はパンと言つものを小鳥さんと食べましょつか。

昼は狩りをしました。

尊い命をいただきます。

あなたの肉体が消えても神がまた新たな肉体をくださるでしょう。
生きる糧をありがとう。

お祈りをしてその場で解体したあと骨は川に流しました。
採つたお肉の半分は燻してしまつておきました。

そうそう今日もワーワルフさんが来るんでした。

今夜はスープを作りましょうか。

そつと決まつたら野菜も採りに行かなくては。

コトコト良い匂いです。

スープは出来ました。

今田採つたお肉も入つています。

ワーワルフさんは喜んでくれますでしょうか。

ワーワルフさんが来ました。

片手に小さな入れ物を沢山持つています。

私へのプレゼントだそうです。

中身はジャムでした。

お茶やパンに付けて食べる事にします。

ワーワルフさんはとても優しいです。

ギュッと抱きしめるとちょっぴり毛が固くて「わーわーしていました。

ですがとても安心できます。

ワーウルフの顔が少し赤くなっていました。

何故かはわかりません。

昨日、だつて木の実を採っていた時にお礼の為に抱きしめました。
その時はなんとも無かつたはずです。

熱でしょうか。

ワーウルフさんは答えてくれました。

「その…夜のお前さんは…な?」

あ、うつかりしていました。

そうでした、私は。

夜のお前れん（後書き）

サブタイトルが微妙にエロい響きですが他意はありません。笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3059ba/>

エネルナ！

2012年1月10日21時47分発行